

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2018年2月9日

ミサワホーム総合研究所が

『バウハウス 100 ジャパン』プロジェクトに参加

- バウハウス創立 100 周年を日本で祝う 3 年間のプロジェクトがスタート
- 長年バウハウスを研究しているミサワホーム総合研究所が企画・運営に参加
- 今後 3 年間、5 つの美術館での巡回展を核に全国で様々なイベントを開催

ミサワホームグループの株式会社ミサワホーム総合研究所（本社 東京都杉並区／代表取締役社長 内田和明）は、このほど設立された「バウハウス100周年委員会」のメンバーとして、バウハウス創立100周年を日本で祝う「バウハウス100ジャパン」プロジェクトの企画・運営に携わります。

造形学校「バウハウス」は、1919年にドイツで設立され、デザインや建築、造形教育において、その思想が今なお世界に多大な影響を与えています。建築をもとにあらゆる芸術を統合しようとの思いから、家具や照明器具、陶器、金属器などの日用品、テキスタイルに至るまで、幅広い分野で新たな形態を目指して活動しました。1933年に閉校するまで、14年間という短い活動期間でしたが、ここでの試みは80年以上経った現在でも生活の所々に受け継がれています。日本は世界でもいち早くバウハウスの誕生とその動向に目を向け、その理念と活動を長年研究し続けてきました。

ミサワホームは商品開発におけるデザインポリシーを「シンプル・イズ・ベスト」とし、年月を経ても飽きのこないデザインを実現し住宅の価値を高めることを掲げています。バウハウスにおいて80年以上も前にデザインされた作品が今なお高く評価されていることは、ものづくりという共通の視点において学ぶ点が多いことから、1989年にバウハウス関連の作品の収集を始め、1996年に「ミサワバウハウスコレクション」を開設しました。現在、作品約1,500点、資料約1,200点、芸術関連蔵書約13,000冊を所蔵し、単独での企画展の開催や国内外の美術館への出品・企画協力をするなど積極的な啓蒙活動に取り組んでいます。

この度、2019年にバウハウスが創立100周年を迎えることを機に、日本におけるバウハウス研究の中心的な役割を担ってきた研究者が集まり、「バウハウス100周年委員会」が発足しました。長年バウハウスを研究しているミサワホーム総合研究所の学芸員（そまだ かほ 杉田 佳穂）も本委員会に参画することになりました。本委員会は創立100周年を祝い、改めてバウハウスの意味と意義を問い直すことを目的に「バウハウス100ジャパン」プロジェクトを立ち上げ、今後3年間で様々な展覧会、シンポジウム、ワークショップ、研究などを行います。

ミサワホームは、これまで収集したバウハウスコレクションや研究成果を活かし、このプロジェクトの企画・運営に関わることで、今後も日本のデザインの発展に寄与していきます。

■「バウハウス 100 ジャパン」プロジェクト概要

バウハウス創立 100 周年を祝い、改めてバウハウスの意味と意義を問い直すことを目的としたプロジェクト。本プロジェクトの活動期間は 2020 年までの 3 年間、主な活動は以下の通りです。

1. 巡回展: 2019 年～2020 年に 5 つの美術館で開催する展覧会「バウハウス 100 年 (仮称)」
2. バウハウスの星座: 日本各地で開催される展覧会やセミナーなどバウハウスに関するイベントの紹介
3. 研究: 日本におけるバウハウス研究の総括および国内館所蔵のバウハウス関連データベースの構築

■「バウハウス 100 周年委員会」

(委員構成)

向井周太郎 デザイナー 武蔵野美術大学名誉教授、ウルム造形大学留学生、ウルム造形大学特別研究員
利光功 『バウハウス叢書』日本語版編集委員 前大分県芸術文化短期大学学長、
前日本アートマネジメント学会会長
宮島久雄 『バウハウス叢書』日本語版編集委員、前国立国際美術館館長、前高松市美術館館長
貞包博幸 『バウハウス叢書』日本語版編集委員、大分県立芸術文化短期大学名誉教授
柏木博 デザイン評論家、武蔵野美術大学名誉教授
長田謙一 美術史研究 名古屋芸術大学教授

(総合デザイン)

太刀川英輔 NOSIGNER

(運営事務局)

柚田佳穂 ミサワホーム総合研究所「ミサワバウハウスコレクション」学芸員
深川雅文 キュレーター 巡回展監修
市川飛砂 アートインプレッション

(広報協力)

ゲーテ・インスティトゥート東京

(後援)

ドイツ連邦共和国大使館、スイス大使館



以 上

* この件に関するお問い合わせ先 *

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

中田義規 佐野遥香

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

E-mail : Haruka.Sano@home.misawa.co.jp